

みずほCustomer Desk Report 2016/10/13 号(As of 2016/10/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	103.64
	GBP/USD	AUD/USD				
TKY 9:00AM	103.33	1.1058	114.27	0.9882	1.2274	0.7560
SYD-NY High	104.49	1.1068	115.16	0.9910	1.2326	0.7592
SYD-NY Low	103.28	1.1004	114.06	0.9876	1.2107	0.7534
NY 5:00 PM	104.18	1.1006	114.71	0.9907	1.2205	0.7561
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.405/11.795	△25RR	1.518	Yen Call Over		
NY DOW	18,144.20	15.54	債券市場	日本2年債	-0.2600	▲0.4bp
NASDAQ	5,239.02	▲ 7.77		日本10年債	-0.0560	▲1.1bp
S&P	2,139.18	2.45		米国2年債	0.8585	▲0.8bp
日経平均	16,840.00	▲ 184.76		米国5年債	1.2912	▲0.3bp
TOPIX	1,342.35	▲ 14.00		米国10年債	1.7692	0.5bp
シカゴ日経先物	17,000	85.00		独10年債	0.0670	4.2bp
ロンドンFT	7,024.01	▲46.87		英10年債	1.0430	6.4bp
DAX	10,523.07	▲54.09		豪10年債	2.3030	5.4bp
ハンセン指数	23,407.05	▲ 142.47	為替市況	USD/CNH	6.7254	▲ 0.0043
上海総合	3,058.50	▲ 6.75		ドルインデックス	97.97	0.28
USDJPY 3M Vol	11.40	0.10%	商品市況	CRB指数	188.066	▲1.09
USDJPY 6M Vol	11.29	0.11%		NY金	1,253.800	▲2.10
EURJPY 3M Vol	11.77	0.06%		WTI	50.180	▲0.61
EURJPY 6M Vol	11.89	0.08%		Dubai Spot	49.99	▲0.11

東京	東京時間のドル円相場は103.33レベルでオープン。前日比マイナスで寄り付いた日経平均株価が下落幅を縮小したことや仲値にかけての実需勢のドル買い期待等から103.66まで上昇。しかし、前日に原油価格、米株が大きく下落したことを受けてリスクセンチメントの悪化が意識される中ではこの水準から一段と上値を追う展開とはならず、103円台半ばでのみ合い推移となった。その後、原田日銀審議委員の「雇用改善が続いており、今の時点なら追加緩和と必要ないかもしれない」との発言が伝わるも市場の反応は限定的。引けにかけてやや買いが強まり一時103.67まで上昇した後、103.65レベルで海外へ渡った。また、メイ英首相が議会採決なしでEUに離脱通知する方針を撤回したと報じられたこと等を受けて朝方にポンドが1.21台前半から1.22台後半まで急騰。1.2274レベルでオープンすると、英国が強硬離脱に踏み切るとの懸念が後退する中、一時1.2326まで上昇。その後は東京時間に入ってからの上昇幅をじりじりと縮小させる展開となり、1.2266レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は上昇する展開となった。103.65レベルでオープン。前半は原油安や株安を背景に103.41まで下げる展開。午後に入ると9月FOMCの議事録発表を控える中、ドル買いが強まり103.76レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは方向感の定まらない展開。1.2266レベルでオープン。メイ英首相がEU離脱のプロセスについて、議員による一定の精査を認める方針を示した事により、1.2319まで急上昇するも、英国首相報道官はEU離脱によるリスボン条約50条発動を議会で採決する事はないとの見方を示したことが伝わりポンドが売られ、1.2255レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	ドル円は103.76レベルでNYオープン。朝方はダドリ-NY連銀総裁の「インフレはターゲットを若干下回っている」との発言が伝わるが、相場の反応は限定的。その後は9月FOMC議事要旨公表を控え、期待感から米10年債利回りが上昇したことや、対ユーロ、ポンドドル買いが優勢となり、ドル円は104.30付近でのストップを巻き込み一時104.49まで上昇。しかし公開された9月FOMC議事要旨は「複数のFED高官が利上げ時が比較的に近い」との見方が出たものの、市場が期待していた12月利上げの明確なサインや、来年の利上げ見通しについての詳細が無かったことが嫌気され104.10まで下落。その後はダリ平均がプラスで引けたこともありドル円は下げ渋り、104.18レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1025レベルでNYオープン。上値の重い推移から一時1.1004まで下落するが、ユーロは対ポンドで買いが続いていることもあり、この水準では下げ渋り、1.1006レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月12日	8:50	日 機械受注(前月比/前年比)	8月 -2.2%/11.6%	-4.7%/7.9%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 1.6%/1.8%	1.5%/1.5%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- -6.0%	-
	21:00	米 ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-
	22:40	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	-	-
10月13日	3:00	米 FOMC議事要旨公表(9/20-21分)	-	-

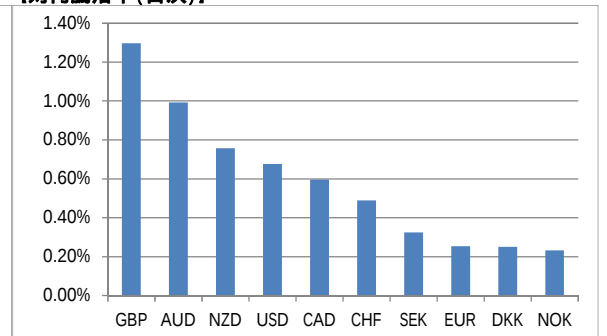
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月13日	-	中 貿易収支	9月 \$53.00B	\$52.05B
	15:00	独 CPI・確報値(前月比/前年比)	9月 0.1%/0.7%	0.1%/0.7%
	21:30	米 輸入物価指数(前月比/前年比)	9月 0.2%/-1.0%	-0.2%/-2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 253K	249K
10月14日	01:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.60 - 105.00	1.1000 - 1.1060	114.50 - 115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な動きを見せ上値を切り上げた。米9月FOMC議事要旨の公表を前に、ドルに対する押し目買いの広がりや米10年物国債の利回りが約4か月ぶりに1.80%を超えたことなどと相俟ってドル/円は一時104.49円まで上昇した。FOMC議事要旨については、市場の予想通り新規材料はなかったものの、メンバー数人が比較的近く利上げが正当化されると認識していることが分かり、改めて年内利上げに対する期待が広がる形となった。本日のドル/円は底堅い推移になると予想。FOMC議事要旨からメンバーが米国経済の堅調な回復を認識していることが再確認され、ドルの底堅さを印象付けた。また、英メイ首相がEU離脱プロセスにおいて単一市場に可能な限り最大限アクセスできるよう検討していく考えを明らかにしたことなどから「ハードブレクジット」への懸念が和らぎリスクセンチメントにプラスに働いたと考える。本日は目立った経済指標の発表を予定しておらず、ドル/円は104円前後で堅調に推移すると予想する。